



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1123 2018年5月21日

5月15日～6月15日は「情報通信月間」です

期間中は、「ICTでつなげるひろがる明るい社会」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、「記念中央式典」をはじめ、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されます。ARIBでも情報通信月間行事として本年も「電波の日記念講演会（5月28日）〈Webにて申込受付中〉」、「周波数資源開発シンポジウム2018（7月6日）」を開催します。

ARIBの動き

「第16回 アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡」の概要

第16回アジア太平洋地域 ITS フォーラム福岡が、5月8日から10日まで福岡国際会議場において開催され、ITS 情報通信システム推進会議及び第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）から本フォーラムに参加し、展示ブースを出展したので概要をお知らせします。

本フォーラムでは、アジア太平洋地域を中心に専門家が集まり、最新のITS技術に関する各種講演や展示、自動運転車を用いたデモンストレーションやアイデアソンが行われました。

オープニングでは、本フォーラム実行委員長の中尾和毅氏（西日本鉄道・常任顧問）に続き、総務省の坂井学 副大臣が挨拶を行いました。また、各種セッションでは、総務省の竹内芳明 電波部長と中里学 新世代移動通信システム推進室長の講演がありました。

ITS 情報通信システム推進会議、5GMF からそれぞれ出展したパネル展示や5G実証試験のビデオに多くの来訪者があり、高い関心を集めていました。

【イベント概要】

- ・日時： 2018年5月8日(火)～10日(木) 9:00～17:30 (最終日～12:30)
- ・場所： 福岡国際会議場
- ・参加者： 約2,500名
- ・主催： アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡実行委員会
- ・後援： 総務省、経済産業省、国土交通省、警察庁、福岡県、福岡市他

【講演・セッション】

- ・ PL01 Impact on society by new era of mobility :

福岡県知事の小川洋氏の基調講演の後で、各国の社会問題や交通事情に基づいた ITS に対する新しい取組みが紹介されました。(PL: Plenary Session)

- PL02 ITS, contributing to the solution of the social challenges :
総務省 竹内電波部長の日本の ITS の開発状況やコネクテッドビークルでの活用が期待される 5G に関する基調講演に続いて、各国から社会変革に向けた試みが紹介されました。
- HL01 Government Panel - Automated driving for the realization of Society 5.0 :
総務省 中里室長から日本における ITS や 5G の開発状況について講演がありました。(HL: Host High Level Panels)
- 上記以外にも 40 を超えるパネル・ポスターセッション、他が開催されました。

【展示・デモ】

- 5 階展示会場において、ITS 情報通信システム推進会議及び 5GMF がブースを出展し、それぞれの活動紹介を行いました。5GMF では 5G 総合実証試験のビデオ放映、ブックレット（2017 年度 5G 総合実証試験報告）の配布を行いました。ITS では通信料に関して、5G では導入時期や技術的な特徴などの質問が多くありました。
- 会場内外において、自動運転車を用いたデモンストレーションや試乗が行われていました。



福岡国際会議場



オープニング・セレモニー



坂井 学
総務副大臣



竹内 芳明
総務省総合通信基盤局
電波部長



中里 学
総務省新世代移動通信システム
推進室長



展示会場



展示ブース（5GMIF、ITS 情報通信システム推進会議）

ITU-R SG5 TG 5/1 第 5 回会合の概要

WRC-19 議題 1.13（将来の IMT 開発に向けた 24.25-86GHz 帯における移動業務の追加一次分配を含む IMT 特定のための周波数に関する検討）の責任グループである SG5 Task Group 5/1（TG 5/1）の第 5 回会合が開催されました。TG 5/1 は議題 1.13 における無線システム間の周波数共用検討や CPM テキスト案の作成を行うことを所掌としています。

1. 会合の概要

日時： 2018 年 5 月 2 日～11 日

場所： CICG/ ITU 本部（スイス・ジュネーブ）

参加者： 各国の主管庁・事業者・ベンダー等より約 250 名

日本代表団として、総務省移動通信課 小橋係長を団長に 10 名、当会から西岡理事、加藤担当部長が参加。



TG 5/1 会場

2. 主要結果

今会合では 110 件程度の寄書が入力された（WP 等からのリエゾン文書も含む）。今会合では、共用検討文書の最終化に向けた作業、及び CPM テキスト（WRC-19 に向けた事前検討文書）案作成に本格的に着手した。

(1) 審議体制

周波数帯に応じて WG を設置し、周波数・業務に応じて下部組織（SWG : Sub-Working Group、DG : Drafting Group）を設置し審議を行った。日本からは新博之氏（NTT ドコモ）が、SWG32GHz の議長を務めている。

(2) 各周波数帯における既存業務との共用検討

周波数・業務ごとの共用検討結果を取りまとめる作業文書（11 文書、添付資料計 30）が作成／更新された。当初計画では今会合で完成予定であったが、一部の作業文書に関しては全体の結論の記載に関して審議が不十分であることから、最終化は次回会合の前半に持ち越された。作業文書が作成されている対象周波数・業務は以下の通り。（[]内は検討結果の数）

- 24.25-27.5GHz EESS/SRS[6], EESS/RAS(passive)[13], FSS[14], ISS[5], FS[7]
- 31-33.4GHz: RNS[4], SRS(space-to-Earth)[2], EESS(passive)[3], RAS[1]
- 37-43.5GHz FSS(space-to-Earth)[8], EESS/SRS[3], EESS/SRS(passive)[3], FS[1], RAS[3]
- 42.5-43.5GHz FSS/MSS/BSS (Earth-to-space)[8]
- 45.5-47GHz AMS[1]
- 47-47.2GHz 入力寄書無し
- 47.2-50.2GHz EESS(passive)[4], FSS(Earth-to-space)[8]
- 50.4-52.6GHz EESS(passive)[3], FSS(Earth-to-space)[4]
- 66-71GHz ISS[1]

AMS: Aeronautical Mobile Service
 EESS: Earth Exploration Satellite Service
 BSS: Broadcast Satellite Service
 FSS: Fixed Satellite Service
 FS: Fixed Service
 ISS: Inter-Satellite Service
 MSS: Mobile Satellite Service
 RAS: Radio Astronomy Service
 RNS: Radio Navigation Service
 SRS: Space Research Service

- 71-76GHz FS[3], Automotive radar[2], FSS[1]
- 81-86GHz EESS(passive)[3], FS[2], RAS[2], RAS(adjacent)[2],
Automotive radar[2], FSS[1]

欧州で割り当てが検討されており 5G 候補周波数として注目度の高い 26GHz 帯に関しては、同一周波数の固定衛星業務（FSS）については概ね共用可能であるが条件によっては FSS が保護されないケースが指摘されている。また、隣接周波数の地球探査衛星業務（受動）（EESS(passive)）については、IMT 側の不要放射制限値を、現在前提としている値より更に低減する必要があるとの結果が示されている。

(3) CPM テキスト案の作成

CPM テキスト案に関しては、具体的なテキスト内容の議論に先立ち、周波数間で記載内容の整合性を図るため、無線規則(RR: Radio Regulation)に対する主要アクションを踏まえた選択肢の整理を行った（変更有無、強制条件／任意条件の考え方等）。次に、入力寄書に基づき、周波数／業務毎に具体的な CPM テキスト内容の審議に着手したが、まだ共用検討結果の結論付けが確定していないことから、次回の詳細議論に向け、主に提案内容のマージ、記載項目の整理、論点の洗い出しを中心に作業文書の作成を行った。今会合より具体的な CPM テキスト案が入力されており、CPM テキスト案作成のためのガイドラインを策定した。入力された CPM テキスト案に関しては、次回会合で議論する整理となった。

3. 今後の予定

第 6 回（最終回） 2018/8/20～29 @スイス・ジュネーブ： CPM テキスト案作成完了

第 264 回 技術委員会（放送分野）を開催

第 264 回技術委員会を開催しました。

- 1 日時： 平成 30 年 5 月 16 日（水） 午後 3 時 30 分から 4 時 15 分まで
- 2 場所： 当会第 2 会議室
- 3 議題
 - (1) 第 107 回規格会議の結果について
 - (2) NAB SHOW 2018 の開催模様について
 - (3) ARIB/DiBEG～SBTVD フォーラム意見交換会 第 5 回会合の結果について
 - (4) 電波の日記念講演会の開催について
 - (5) 各社からのトピックス
 - (6) その他

